

令和 3 年度（2021 年度）輸送実績の概況

令和 3 年度における内航輸送量の合計は、前年度比では 104.5%の 3 億 6,643 万 4 千トン/kl となり、貨物船は 2 億 4,337 万 8 千トンで 105.0%、油送船は 1 億 2,305 万 6 千トン/kl、103.5% となった。

下期の貨物船の輸送量は 1 億 2,228 万 7 千トンで前年同期比 98.5%、油送船は 6,305 万 3 千トン/kl で前年同期比 99.5%となった。

前年度は新型コロナウイルス感染症の影響から緊急事態宣言の発出も見られたが、今年度に入り緊急事態宣言から蔓延防止等重点措置へと移り、経済活動の回復から上期は比較的堅調に推移したが、下期は夏場の東南アジアでのロックダウンをはじめ、中国のゼロコロナ政策が製造業や物流にも影響を及ぼし全体として低調に推移した。

品目別に前年度下期比で貨物船の輸送量を見ると、鋼材が 106.5%。鋳工業生産の起ち上がりから鉄鋼の輸送は大きく回復が続いた後、自動車生産の停滞に伴う鋼材需要の低下が見られた結果、年明けより製品の置き場スペースの問題から輸送のペースは低調となった。

原料は 101.6%。鉄鋼等の回復に伴い増加したが、下期は石灰石、非金属鉱、スラグの輸送の鈍化に見られる通り 9 月に休止した製鉄所への原材料輸送の落ち込みの影響が見られた。

燃料は 102.5%。石炭は堅調に推移したものの、コークスの輸送量については減少が見られた。

紙・パルプは 99.5%。8 月に製紙工場の操業停止があり、それまでは製品の旺盛な送り込みが見られたが操業停止後は輸送は低調となった。

雑貨は 100.9%。北海道航路では夏場の干魃による農産物の凶作が影響して、農産物の輸送は振るわなかった。令和 3 年 8 月の大雨により JR 貨物の代行輸送はわずかであるが発生した。自動車の CKD 輸出の横持ち輸送は好調に推移した。

年間を通じて、緊急事態宣言（2021 年 4 月 25 日～6 月 20 日、7 月 12 日～9 月 30 日）並びにまん延防止等重点措置（2021 年 4 月 5 日～9 月 30 日、2022 年 1 月 9 日～3 月 21 日）が発出された中において、解除された地域では食品等の需要が戻るなど地域によって濃淡が見られた。

自動車は 84.7%。半導体不足の影響や夏場の東南アジアでの感染症感染拡大による部品供給の不足により自動車工場での生産停止の煽りを受けたことから、輸送減少が続いた。秋に入り大幅な輸送量の減少に伴い、運航面では減便対応による調整も見られた。

セメントは 98.4%。感染症拡大による工事の延期や需要低迷が継続しており、輸送量は減少傾向となっている。

穀物・肥料・飼料は 110.8%、機械・プラントは 93.0%、砂・砂利・石材は 94.2%となった。

油送船については黒油が 99.2%、白油が 100.1%、油脂が 86.6%、ケミカルが 98.8%。特タン船が 99.3%となった。

黒油は製油所間転送が底堅く推移しており、全体では前年下期並みとなった。

白油（ガソリン・灯油・軽油）は航空燃料需要の回復が徐々に見られ、また、一部で製油所の装置不

具合により転送需要が見られたが、原油価格の高騰からガソリン需要は低迷しており、全体では前年下期並みとなった。

ケミカルは自動車生産の減少を主因に需要の減少が見られた。

特タン船は LPG、塩ビモノマー、エチレン、硫酸、苛性ソーダ、酢酸の好調な輸送が見られた一方で、アスファルトで製油所間転送の減少や長距離輸送が多く発生し、特タン船全体としては前年下期並みとなった。

輸送の状況に関する主な出来事は次の通り。

1. 東京オリンピック・パラリンピックの開催から物流への影響が予想されたが、目立った混乱は見られなかった。
2. 2022 年 1 月 16 日の深夜、前日のトンガの海底爆発による津波の影響は、太平洋沿岸区域にあった船舶においては、荷役の中断や待避等が見られた結果、運航スケジュールに遅れが出たが深刻な影響とはならなかった。
3. 2022 年 1 月 22 日の深夜、九州（大分・宮崎）で発生した震度 5 強の地震について、陸側の設備の点検等はあったが輸送に関して影響は見られなかった。
4. 2022 年 3 月 16 日の深夜に起きた福島沖地震（震度 6 強）で、津波注意報発令のため船舶は避難が見られた。一部岸壁などに被害が出たが深刻な被害は見られなかったため、船舶の運航スケジュールの遅延は翌日中に解消された。一方で、被災した化学工場からケミカル製品の出荷停止が見られ、予定していた輸送の中止や停滞があったほか、石炭火力発電所等の被災により、一時的に石油火力発電所に向けて黒油の輸送が見られた。

【 参 考 】

関 連 業 界 の 動 向

	令和2年度(2020年度)			令和3年度(2021年度)			増 減 率	
	上期	下期	年度計	上期	下期	年度計	前年下期比	前年度比
鉄 鋼	(千t)			(千t)			(%)	(%)
粗鋼生産量	37,085	45,699	82,784	48,423	47,214	95,637	103.3%	115.5%
粗鋼見掛消費	23,872	31,785	55,658	32,322	32,381	64,702	101.9%	116.3%
石 灰 石	(千t)			(千t)			(%)	(%)
生産量	62,501	66,663	129,164	65,555	67,138	132,693	100.7%	102.7%
国内出荷	59,402	63,882	123,284	62,213	64,023	126,236	100.2%	102.4%
製 紙	(千t)			(千t)			(%)	(%)
紙・板紙国内出荷	10,197	11,050	21,247	11,817	11,201	23,018	101.4%	108.3%
新聞用紙出荷	1,002	1,042	2,044	982	994	1,976	95.4%	96.7%
自 動 車	(千台)			(千台)			(%)	(%)
国内生産台数	3,336	4,634	7,970	3,603	3,942	7,545	85.1%	94.7%
国内販売台数	2,029	2,628	4,657	2,050	2,165	4,215	82.4%	90.5%
セメント	(千t)			(千t)			(%)	(%)
国内生産	28,229	28,958	57,187	27,343	28,398	55,741	98.1%	97.5%
国内販売	20,352	19,665	40,017	18,689	19,181	37,870	97.5%	94.6%
石 油 製 品	(千kl)			(千kl)			(%)	(%)
燃料油内需量	82,708	82,581	165,289	71,179	82,276	153,455	99.6%	92.8%

* 粗鋼見掛消費量は、国内出荷量をさす。「生産」+「輸入」-「輸出」

* 末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある。

* 前回発表時データからその後修正等により変更されているものがある。

2021(令和3)年度【下期】 輸送実績（1号票集計結果表）

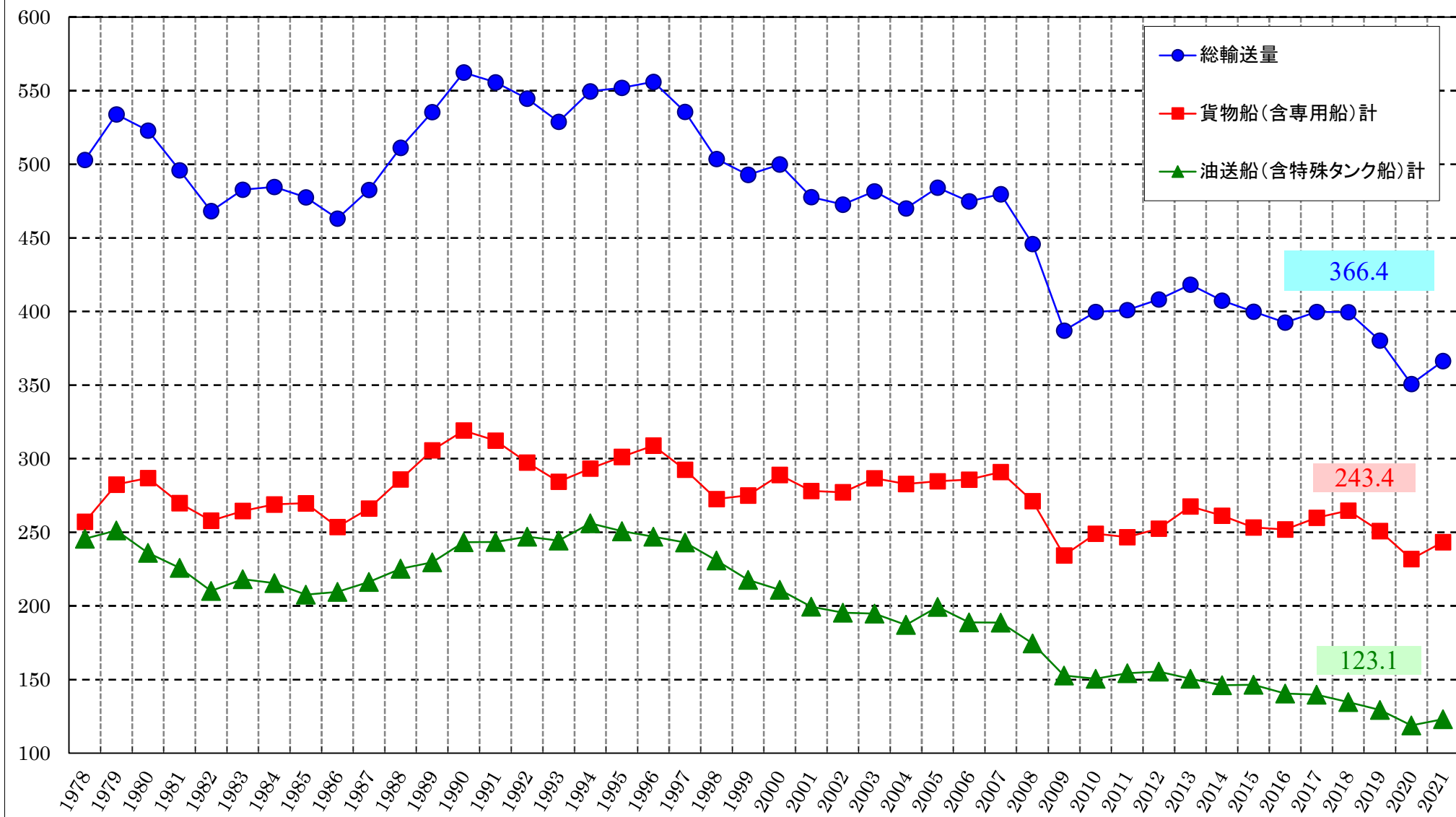
（単位：千トン、千kl（一般タンカー））

大分類	品目	2020(令和2)年度			2021(令和3)年度			前年度 下期比 (%) (C/A)	前年度 合計比 (%) (D/B)
		上期	下期 (A)	合計 (B)	上期	下期 (C)	合計 (D)		
鋼材	鋼材（一般鋼材）	17,703	22,139	39,842	23,236	23,525	46,761	106.3%	117.4%
	鋼材（容積材）	129	176	305	198	239	437	135.8%	143.3%
	計	17,832	22,315	40,147	23,434	23,764	47,198	106.5%	117.6%
原料	石灰石	15,730	17,437	33,167	18,442	17,909	36,351	102.7%	109.6%
	非金属鉱	918	1,171	2,089	1,248	1,110	2,358	94.8%	112.9%
	金属鉱	245	252	497	274	306	580	121.4%	116.7%
	スラグ	3,454	3,412	6,866	3,271	3,102	6,373	90.9%	92.8%
	その他原材料	6,079	7,110	13,189	6,860	7,414	14,274	104.3%	108.2%
	計	26,426	29,382	55,808	30,095	29,841	59,936	101.6%	107.4%
燃料	石炭	6,330	6,629	12,959	7,298	7,000	14,298	105.6%	110.3%
	コークス	1,649	2,181	3,830	2,301	2,033	4,334	93.2%	113.2%
	計	7,979	8,810	16,789	9,599	9,033	18,632	102.5%	111.0%
穀物・肥料・飼料	穀物・飼料	2,538	2,542	5,080	2,779	2,757	5,536	108.5%	109.0%
	肥料	314	315	629	384	413	797	131.1%	126.7%
	りん鉱石	2	3	5	3	0	3		
	計	2,854	2,860	5,714	3,166	3,170	6,336	110.8%	110.9%
機械・プラント		183	186	369	188	173	361	93.0%	97.8%
紙・パルプ	木材	550	600	1,150	711	743	1,454	123.8%	126.4%
	紙	763	835	1,598	787	690	1,477	82.6%	92.4%
	パルプ	28	35	63	44	29	73	82.9%	115.9%
	計	1,341	1,470	2,811	1,542	1,462	3,004	99.5%	106.9%
雑貨	一般雑貨	7,654	8,253	15,907	8,567	8,151	16,718	98.8%	105.1%
	油脂類	2	1	3	2	3	5		
	コンテナ	4,454	4,922	9,376	5,030	5,009	10,039	101.8%	107.1%
	塩	531	583	1,114	567	666	1,233	114.2%	110.7%
	アルミナ	32	31	63	28	27	55	87.1%	87.3%
	非鉄金属	354	296	650	351	351	702	118.6%	108.0%
	計	13,027	14,086	27,113	14,545	14,207	28,752	100.9%	106.0%
自動車		20,308	26,178	46,486	21,042	22,178	43,220	84.7%	93.0%
セメント		15,888	17,078	32,966	15,947	16,802	32,749	98.4%	99.3%
砂・砂利・石材		1,913	1,759	3,672	1,533	1,657	3,190	94.2%	86.9%
貨物船 合計		107,751	124,124	231,875	121,091	122,287	243,378	98.5%	105.0%
一般 タンカー	黒油	13,312	16,012	29,324	14,587	15,879	30,466	99.2%	103.9%
	白油	29,557	32,367	61,924	30,310	32,406	62,716	100.1%	101.3%
	油脂	427	449	876	464	389	853	86.6%	97.4%
	ケミカル	5,427	6,196	11,623	6,617	6,119	12,736	98.8%	109.6%
	計	48,723	55,024	103,747	51,978	54,793	106,771	99.6%	102.9%
特タン船		6,812	8,315	15,127	8,025	8,260	16,285	99.3%	107.7%
油送船 合計		55,535	63,339	118,874	60,003	63,053	123,056	99.5%	103.5%
総合計（貨物船＋油送船）		163,286	187,463	350,749	181,094	185,340	366,434	98.9%	104.5%

注）末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある

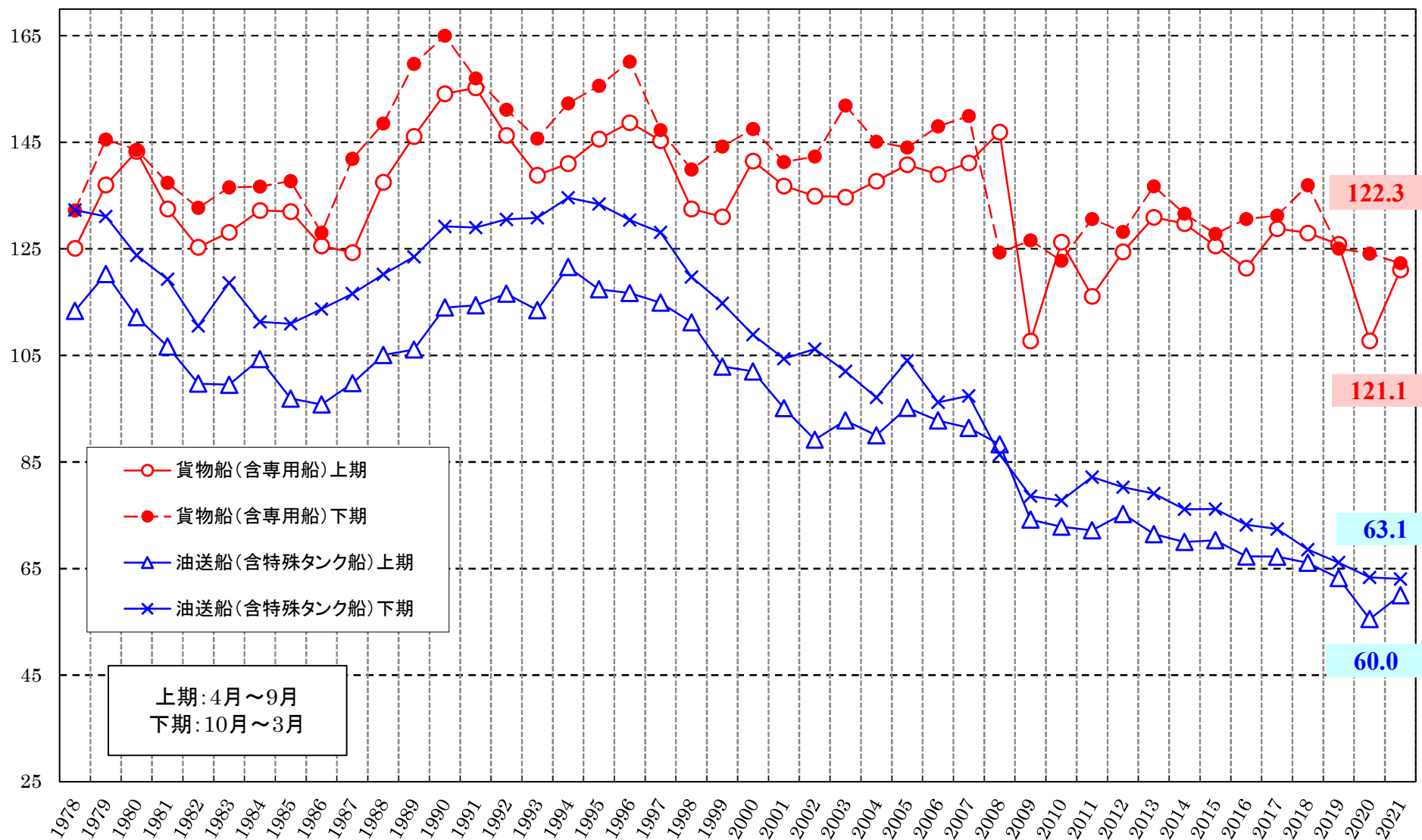
内航輸送実績推移

単位 貨物船:百万トン、一般タンカー:百万kl



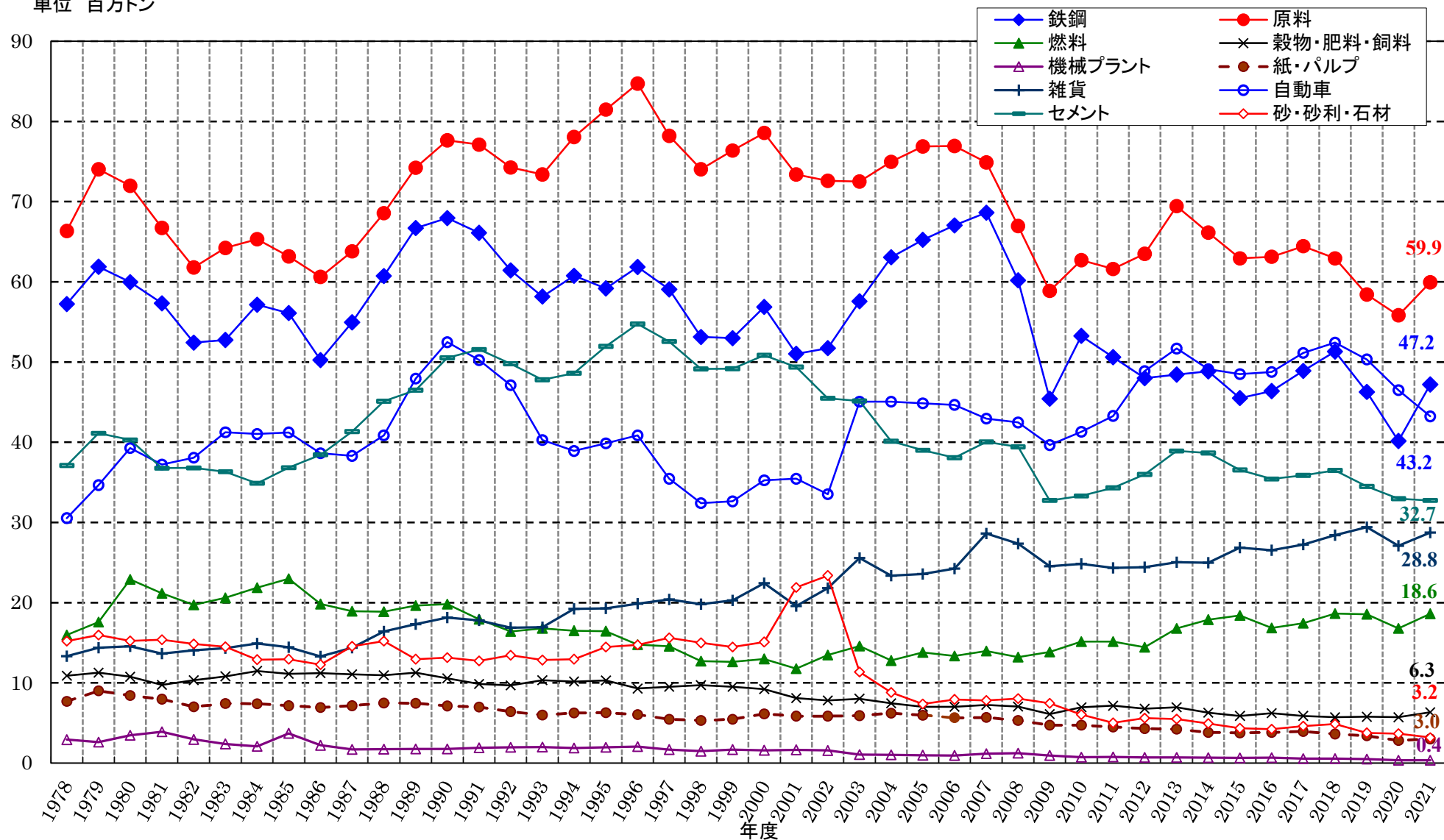
内航輸送実績推移(上・下期別)

単位 貨物船:百万トン、一般タンカー:百万kl



主要品目別(貨物船)の輸送実績推移(年度別)

単位 百万トン



主要品目別(油送船)の輸送実績推移(年度別)

単位 百万kl(特殊タンク船は百万トン)

